



周産期に活用できる里親制度 ～母子支援虐待防止の視点から～

近年、子ども虐待への支援や予防においては、特に妊娠期、周産期、乳幼児期への切れ目のない支援が、また代替養育が必要な場合の里親委託の推進が求められています。

現在でも、児童相談所における支援では、顕在化した虐待ケースに対し一時保護や里親委託、施設入所等の子どもの権利擁護主体の支援となり、子どもと親を一体として支援することが十分ではありません。市町村要保護児童対策地域協議会における多機関連携による支援によって、各機関の特色を生かし、予防的、一体的な支援が可能になると考えられます。今回の講義を通して助産師にできることを学んでいきましょう

【講師】 関西学院大学 名誉教授

社会福祉士 **前橋 信和 氏**

【日時】 令和4年10月8日（土）13時30分～15時00分

*13時00分～入室可能 13時15分～会長挨拶

【方法】 Zoomによる live 配信

*申込方法：ホームページ（定例研修会・各種講座）からお申込みください。

*先着100名

*締め切り：令和4年10月1日（土）

*参加費：大阪府助産師会会員 3,300円（税込）
非会員（他都道府県会員・一般）5,500円（税込）
学生（看護・助産） 550円（税込）

*参加費は振込です。振込先は申込後お知らせします。

入金後のキャンセルによる返金はできません。

*振込み確認後に受講に必要な ZOOM（ID・パスコード・URL）や講義資料、アンケート等をメールでお送りします。

*受講確認後、該当者には修了証を PDF でメール送信にて発行します。

一般社団法人 大阪府助産師会

〒543-0032 大阪市天王寺区細工谷1丁目1-5

TEL 06-6771-6537

URL <https://www.josansi.org>

E-mail kensyu-mousikomi@josansi.org

企画：組織強化・広報委員会

運営：定例研修担当委員会